



たもんじ交流農園 便り

Vol.9 2018年12月号

“たもんじ交流農園便り”は、農園であったいろんなこと、これから予定しているイベントや講演会、農園仲間の人となり等、たもんじ交流農園に関する様々な情報を、会員の皆様にお伝えする情報誌です。



たもんじ交流農園事業は、平成30年度すみだの夢応援助成事業に決定致しました。



第二期引渡し式実施！5組の新メンバーが誕生しました！

今期初から造成してきた第2期6ブロックの畝が完成し、10/27・11/4 および 11/25 に行われた引渡し式の結果、5グループの新たな「農園のお隣さん」が誕生しました。

引渡し式では、てらたま協議会の高木理事長から「どうかこの子に引き続き愛を注いで頂き、立派な野菜畑に育てて頂くよう、宜しくお願い致します」と書かれた「お願いの書」が(例によって)授与され、続いて会員の皆様による「初鋤入れの儀」が行われました。新たにメンバーとなった皆さんには、これからの新たな農園ライフの始まりに胸ときめかす瞬間となりました。(末林和之記)



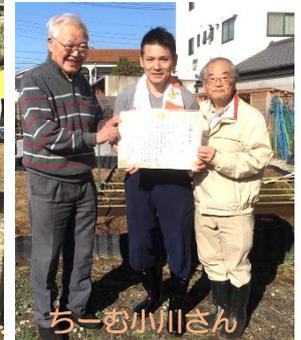
須貝さん、染谷さん



佐藤さん



向島の家/齊藤さん



ちーむ小川さん

新・農園のお隣さんご紹介

① 自己紹介、②育ててみたい野菜、③希望するイベントや講演会、④農園にかける想い等

区画 8-1 須貝 利喜夫さん

- ① 墨田区に住んで約40年になります。旅行とゴルフと日本酒が大好きです。仕事は民間のシンクタンクでやり甲斐を感じながら、日々務めています。墨田区主任児童委員の方々や家族、会社の仲間も手伝ってくれる予定です。
- ② 「亀戸大根」と「寺島なす」は必須です。そしてカレーが大好きなので、じゃがいも、人参、玉ねぎ、ピーマンには挑戦するつもりです。



③ 10月に農園で主任児童委員会の仲間とBBQで楽しい時間をすごさせて頂きました、農園メンバーでBBQは定期的に行いたいと思っています。また、畑のイロハの研修も希望します。

④ 有機野菜のおいしさをトコトン追求していきたいと思っています。収穫物はみんなで味わいたいですね。これも、主任児童委員会のイベントに活用したいと考えています。



うちの畑まん 第3回

東京都中小企業診断士協会城東支部



大口氏



私達の畑では、この夏寺島なすや三河島枝豆、小松菜といった江戸野菜やトマトなどの野菜を作り、今は大蔵大根、亀戸大根、東京べか菜、三つ葉を育てているところです。収穫した野菜は、メンバーが料理したり支部のイベントのゲームの景品として配ったりしました。私を含め、農園で野菜を育てるのは初めての方が多く、わからないことも多いですが、メンバーの方々、農園の皆様のご協力もあり和気あいあいと楽しくやっています。今夏は猛暑続きで、野菜がうまく育たなかったこともあり、これを生業としている野菜農家の方々の苦勞を少しながら実感しています。こういった苦勞をされているの方々に対して診断士として何が出来るか、それを考えながら今日も畑に水やりをしているところです。(大口憲一記)



相川氏

「江戸野菜の歴史と農産物生産・販売ブランディング戦略を学ぶセミナー」に参加して

東京都中小企業診断士協会城東支部では、11月24日(土)に農園お隣の多聞寺にて、掲題のセミナーを開催し、多くの皆さんに聴講頂きました。

前半は千葉県野田市の荒木農園代表の荒木大輔氏より「農産物の生産と販売戦略、ブランディングの特徴について」、後半はてらたま協議会理事長兼、成蹊大学名誉教授の



高木新太郎氏より「江戸野菜の御前栽畑(おせんざいばた)」についてご講演頂きました。荒木氏からは農家の立場から現場の話をお伺いすることができ、農家として安定した売上の確保や農産物のブランディングはとても難しいということ学びました。高木氏からは御前栽畑から江戸野菜の歴史までわかりやすくご解説頂きました。御前栽畑の読み方一つとっても、色々な解釈があるとのことで、歴史の奥深さを学ぶことができました。

高木新太郎氏より「江戸野菜の御前栽畑(おせんざいばた)」についてご講演頂きました。荒木氏からは農家の立場から現場の話をお伺いすることができ、農家として安定した売上の確保や農産物のブランディングはとても難しいということ学びました。高木氏からは御前栽畑から江戸野菜の歴史までわかり

セミナー後は皆で農園見学を行い、荒木氏より大根・三つ葉の育成方法を学び、その後、皆で育てて収穫した大蔵



大根の葉っぱ



大根の煮物

大根等を懇親会の場で参加者で美味しく頂き、楽しく盛り上がりました。今回のセミナーは、農業経営に対する中小企業診断士としての役割と今後の展開について、色々と考えさせられるとても良い機会になったように思います(相川佳寛記)。

第2期開発 引続き 残り1区画 耕作者募集中!!

対象：たもんじ交流農園を創設し、江戸野菜を復活させるという当協議会の理念に賛同頂ける方他、耕作期間：～2020年3月、農園会費：5,000円/月/約11㎡、応募方法：①お名前、②ご住所、③電話番号、④メルアド、⑤自己PRを teratama.machidukuri@gmail.com 迄

お正月恒例！高木理事長と歩く

隅田川七福神めぐり

1月5日(土)

集合：1:30 鐘ヶ淵駅西口



たもんじ交流農園便り
No.9-般 2018.12.17 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之

てらたま協議会 (NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)

<http://www.teratamakyougikai.org/diary2.html>

問い合わせ先 小川 剛 (080-3421-3115)

セブン-イレブン記念財団



「たもんじ交流農園便り」は、セブン・イレブン記念財団から頂いた環境市民活動助成金を使用しています。